

ソ連の対日宣戦布告 書き下し

資料画像⇒「3.「ソ」連の対日宣戦通告関係」JACAR（アジア歴史資料センター）Ref.B02032979100、大東亜戦争関係一件／戦争終結ニ関スル日蘇交渉関係（蘇連ノ対日宣戦ヲ含ム） 第二巻（A.7.0.0.9-55_002）（外務省外交史料館）、14 画像目

資料解説⇒[ソ連の対日宣戦布告](#)

書き下し※
「仮訳」 「ヒトラー」独逸〔ドイツ〕の敗北及降伏後に於〔お〕いては日本のみが戦争を継続する唯一の大国たるに至れり。三国即ち米合衆国、英国及支那〔中華民国〕の日本軍隊の無条件降伏に関する本年七月二十六日の要求は日本に依〔よ〕り拒否せられたり。因〔よ〕て極東戦争に関する日本政府の蘇〔ソ〕連邦に対する調停方の提案は全く其の基礎を失いたり。日本の降伏拒否に鑑み、連合国は蘇〔ソ〕連邦政府に対し同政府が日本の侵略に対する戦争に参加し、以〔も〕て戦争の終了を促進し、犠牲者の数を減少し、且〔かつ〕急速に一般的平和の回復に資すべく提案せり。蘇〔ソ〕連邦政府は其〔そ〕の連合国に対する義務に遵〔したが〕ひ連合国の右提案を受諾し、本年七月二十六日の連合国宣言に参加せり、蘇〔ソ〕連邦政府は斯〔かか〕る同政府の政策が平和を促進し、各国民を此〔こ〕れ以上の犠牲と苦難より救い、日本人をして独逸〔ドイツ〕が其〔そ〕の無条件降伏拒否後嘗〔な〕めたる危険と破壊を回避せしめ得る唯一の手段なりと思考す。以上の見地より蘇〔ソ〕連邦政府は明日即ち八月九日より同政府は日本と戦争状態にあるべき旨を宣言す。 一九四五年八月八日

※宣戦布告文の原文はロシア語であり、ここでは外交資料中の「仮訳」を書き下しています。読みやすさを重視して、一部旧字を新字に、片仮名を平仮名に改めたり、濁点や句読点を付すなど変更を加えています。